



全日病 S-QUE 看護師特定行為研修

臨床薬理学

共通科目



2. 主要薬物の薬理作用・副作用の理論と演習／3. 主要薬物の相互作用の理論と演習

消化器系 演習

薬師寺慈恵病院

薬師寺 泰匡 氏

臨床薬理学 演習：消化器系

薬師寺慈恵病院
薬師寺泰匡

本日の内容

目標

・消化器系の治療薬の特徴を理解し、臨床の場での適切な対応を考えることができる

内容

症例提示を行い、治療薬に関する方針を検討する

問題1

80歳男性。胸焼けがするという事で上部消化管内視鏡検査を受け、GERDと診断された。

既往歴：慢性心不全、僧帽弁置換術後、高血圧症
内服：ワルファリン、アムロジピン、オルメサルタン、フロセミド、ピソプロロール

この人にPPIが処方されました

考えられる薬物相互反応と、今後血液検査で確認しておくべき検査項目を考えてください。

問題2

20代女性

1年前に下血、下痢の症状が出現し、潰瘍性大腸炎も疑われたが、診断には至っていない。対症療法で改善したため、経過観察となっていた。

2日前から間欠的な腹痛があり、血液混じりの下痢が認められたため受診。

下部内視鏡検査で、下行結腸の粘膜がびまん性におかされ、血管透見像は消失、もろく易出血性を伴い、粘血膿性の分泌物が付着していた。

病理で粘膜全層にびまん性炎症性細胞浸潤、陰窩膿瘍、高度な杯細胞減少が認められ、潰瘍性大腸炎と診断された。

問題2

血液検査ではWBC 9400/ μ L、CRP 4.78mg/dL

患者からの質問への答えを用意してください。

- ①「この病気は治りますか？」
- ②「サラゾスルファピリジンってどんな薬ですか？」
- ③「ステロイド薬を飲むんですか？」
- ④「抗TNF α 製剤という治療が効果的であると聞きました。最初からこちらを使った方がよいですか？」